

本年度の事業は、参加者の生活態度改善、および効果向上の素地づくりを実現することが出来た。来年度以降は、健康指数の改善・医療費の適正化へと繋げていく

目指す状態変容の全体スキーム

状態把握

意識の変容

生活態度の変容

健康指標の変容

医療費の適正化

…今回ターゲットとした領域

事業① 健康スコア

概要

課題のサマリー

スコアおよび課題の解釈

課題の解決方法を提案



- 各事業者の健康状態を共通の評価指標によってスコア化を行った
- スコア開示を通じて、各事業主の課題の見える化／対策構築へと繋がった

主な目的

- ①課題の見える化による事業主の巻き込み
 - 各事業所の課題を見える化し、これまで健保のみで行っていた健康施策に事業主を巻き込むきっかけとする
- ②運用の定着化
 - 事業主にとっての「定量的に把握したい」というニーズに応えながら現場を利するスコアを構築することで、各保健事業を一時的な取り組みに留まらせないようにする

実施状況

- 全19事業所の健康スコアを作成した
- うち2事業所に対して健康スコアを開示し、健康課題に関するディスカッション・目標設定を行った。

実施効果

- スコアを並べることで、事業所別に特徴の差分を可視化することが出来た
- スコアを一部の事業所に開示することで、事業所の目標設定に活用することが出来、かつ健保と事業所のコミュニケーションツールとして役立てることが出来た

事業② 夫婦プログラム(健康フェア)

概要



- 夫婦(家族)で参加出来る健康イベントを開催。自身の健康状態の現状把握を行うための体力・身体測定や、運動・食事に関する講義を実践的に学ぶ機会を設けるとともに、他保健事業への参加を促した

主な目的

- ①保健事業参加への誘導
 - 各種保健事業への参加を促すため、保健事業よりもハードルの低いイベントに参加させ、そこで勧誘を行うことで保健事業への参加を誘導する。
- ②参加者の生活態度改善・施策の効果最大化
 - 夫婦同時参加により、当日の効果最大化、及びその後の改善活動について継続性を期待

実施状況

- 全3回のイベントを企画し、2回開催(1回目は中止)。
- 夫婦12組を含む56名が参加した。

実施効果

- 従業員の生活における健康改善への課題を蓄積出来た
- 参加者の健康意識の変容が確認出来た
- 家族単位でのイベント実施が、保健事業参加促進になることがわかった(夫婦同時の施策実行が効果の最大化に繋がるかどうかは、次年度以降の検証)